

はやした歯科新聞

6
June

<http://www.hayashita.jp/>



口腔ケアと関節リウマチ

関節リウマチと歯周病とは双方向の関係性があり、歯周病の人は関節リウマチを発症しやすく、関節リウマチの人は歯周病になりやすいことがわかっています。

歯周病原因菌のPg菌 (Porphyromonas gingivalis) はアルギニンというもともと体内にある蛋白をシトルリンという物質に変化させることで知られています。それを異物と認識してつくられる抗体が、関節リウマチの診断に有用な抗CCP抗体です。この抗体が身体のあるところあちこちで、シトルリン化蛋白に対してどんどん炎症反応や免疫異常の反応を引き起こします。つまり歯周病が原因で免疫異常が惹起されて、それが関節の炎症に結びついてしまうのです。

逆に関節リウマチの人が治療薬などで免疫力が低下していれば、容易に歯周病を併発しやすくなります。また、関節症状が進行すれば歯磨きなどが難しくなり、口腔内の清潔が清潔が保たれずに歯周病が悪化することもあるでしょう。

さらに関節リウマチではシェーグレン症候群という唾液分泌を低下させる膠原病を合併することもしばしばあり、口腔内衛生が一層保ちにくくなります。悪循環に陥らないよう、歯周病は悪化させずきちんと管理することが大事なのです。

関節リウマチは女性に多く発生し、妊娠・出産の時期に重なることもあります。一般に妊娠中は関節の症状が比較的軽減するといわれています。しかし出産後は育児で忙しく関節への負荷も増大することから症状は悪化することが多くなります。



一般歯科、予防歯科、口腔外科、インプラント、審美歯科、ホワイトニング

はやした歯科医院

〒854-0043 長崎県諫早市立石町22番8号

TEL&FAX: 0957-32-8181

